

常に弱いものの味方でありたい

世田谷区議会議員

藤井まな



区政レポート 2016年 夏号

世田谷生まれ・世田谷育ち・35歳

保育士さんの賃金 が1万円上がります！

民主党、維新の党が合流し民進党が誕生したことに伴い、会派名も民進党に変更し、世田谷民進党・社民党区議団になりました。今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

今回のレポートでは新会派になり初めての議会である第2回定例会の内容についてご報告させていただきます。定例会では新会派初めての代表質問に指名していただき、6月13日の区議会本会議にて代表質問に登壇いたしました。その中で最も力を入れて提言したのが待機児童の解消を目指した保育環境の整備についてです。

今年も1198人の待機児童が出てしまいました。新しく保育園を作ろうとしてもなかなか保育士さんが集まらない現状も待機児童が解決しない要因のひとつです。そういった理由から保育士の待遇改善を促しました。

保育士の賃金が他の職種より平均で10万円以上安いこと、国が6千円しか保育士の賃金を上げようとしないことを問題提起し、**世田谷区独自で賃金の上乗せを行うべきだ**と提言しました。

その結果、世田谷区は平成28年10月より保育士及び看護師の給与に1万円、上乗せすることを発表するに至りました。まだまだ第一歩であり、今の世田谷区の予算ではこれが限界であります。国や東京都も世田谷区の取り組みを受け止めて保育士のさらなる処遇改善を図るよう要請していきます。

民進党会派初の**代表質問**に登壇

代表質問では

- ①熊本地震を教訓とした災害対策について
- ②待機児童解消を主とした保育環境の改善政策の提言
- ③障がい者差別解消法の「合理的な配慮」について
- ④地域包括ケアについて
- ⑤男女共同参画とダイバーシティの推進について
- ⑥シティズンシップ教育について
- ⑦世田谷清掃工場について
- ⑧高さ制限など今後のまちづくりについて

上記内容を質問いたしました。裏面に三つ質問を答弁含めて要約して掲載いたしました。質問に対するご意見お待ちしております。



プロフィール

昭和55年 世田谷生まれ
給田小と世田谷学園を卒業
駒澤大学法学部を卒業
世田谷区議会議員二期目

職歴

世田谷区駒沢小学校臨時職員
駒澤大学同窓会東京都支部 事務局長
駒沢ふれあい広場・盆踊り実行委員会
前東京都議会議員 山口拓 秘書
元厚生労働大臣 小宮山洋子 秘書

藤井まな 事務所

〒154-0002 世田谷区駒沢3-7-9 107
自宅:世田谷区南烏山5-1-20-109
FAX: 03-5315-8656
<http://www.mana-f.com/>
E-mail: mana@mana-f.com



2016年第2回定例会での代表質問まとめ



世田谷区の未来への責任

代表質問 その① 災害対策について



藤井まな

震災時、物流環境は避難者の生活に大きな影響を与える。物資の滞留を防ぐ為に民間業者との事前打ち合わせやシステムの共有が必要と考える。また、多くの震災で福祉施設や人手不足により震災弱者を計画通りに受け入れる事が出来なかった。この状況に対応すべく、福祉の担い手を得る為に事業と協定を結ぶこと。そして、上用賀の公園に福祉避難施設となる体育館を建設すべきと思うが区の考え方はどうか。

改めて、状況を調査し災害時に備えた実効性のある対応を早急に検討整備してまいります。災害時の福祉につきましては課題として認識しております。避難行動要支援者対策として平成29年1月に地域防災計画とあわせて策定いたします。要支援者を円滑に受け入れる事が出来るよう検討してまいります。また、物資輸送の強化としまして事業者等との連携により円滑に進める体制を構築してまいります。



世田谷区

質問の解説ポイントその①

災害弱者・福祉避難所とは？

災害弱者は正式には避難行動要支援者もしくは災害時要援護者という呼び方をしております。障がい者はもちろん、体力が著しく衰えている方、認知症などを発症している高齢者の方、妊産婦・乳幼児の方などを想定しています。

福祉避難所は他の避難所よりも医療器具の充実や手すりなど徹底したバリアフリー、人手の確保が必要となります。

関わる皆さんがどこに住んでいるのかも問われます。熊本地震では計画通りに人が参集できませんでした。



代表質問 その② 世田谷区でのオリンピックパラリンピック開催について



藤井まな

2020年の馬事公苑では、オリンピックとともにパラリンピックの馬術競技が開催されるが、なかなか周知されていないため、広報活動により一層取り組むべきである。また、これからの四年間は障害者スポーツに今まで以上に注力し、障害者スポーツを行う方々への合理的配慮について考える機会とすべきであり、大会後も文化として根付くよう取り組むべきだと考えるが、区の考え方はどうか。合理的配慮が備わった体育館が馬事公苑の近くにあることで、今後普及が期待されている障害者スポーツにも目が向けられるのではないかと。

障害のある方に配慮した施設の整備や会場確保など、施設運営について具体的に実施していくことが不可欠だと考えております。また現在、世田谷オリンピック・パラリンピック取り組み方針の策定を初め、大会後を見据えたレガシー創出に向けて取り組んでいるところでございます。



世田谷区

質問の解説ポイントその②

医療的ケアとは？

御家族の方や看護師さんが日常的に行っている経管栄養注入やたんの吸引などの医療行為を意味します。

医療的な生活援助行為を、医師による治療行為と区別するために、介護や保育の現場で使われ定着してきましたが全体的に取り組みが遅れている分野であり教育の現場では特に遅れています。

元気な子であっても看護師さんがいないと保護者の方が終始付き添わなければならないので普通の学校には行けません。



代表質問 その③ 医療的ケア児の教育について



藤井まな

医療的ケアを持つ子ども達が親の付き添いなしで行けるのは特別支援学校のみであり、学ぶ環境を選ぶことができない。医療的ケアの体制を整えれば元気に動き回れる子どももいる。幼稚園や小学校の現場へ看護師派遣という配慮が必要だと思うが区はどう考えているのか？また、教育委員会は保護者の方達との意見交換の場を福祉部門に任せきりで出席していない。もっと現場の声を聴いてほしい。

医療的ケアが必要な子どもの学校生活などについては様々な課題がございます。今後、先進事例の情報収集を行うとともに、看護師の活用などを含めた医療的ケアの安全な実施体制などについて検討してまいります。検討し、実現していくに当たりましては具体的に関係者の方々と意見交換しながらやっていきたいと考えております。



世田谷区

藤井まなの世田谷活動日記



参議院選挙にて



夏祭りでの一幕

左上は若手の他区議員と一緒に18歳選挙権スタートに伴う演説を若者の多い新宿アルタ前で行わせていただきました。参議院選挙における世田谷区の18歳投票率は69・08%でした。60代平均に近い高い投票率となりました。右上もまた20代30代の方々の政治参画を如何にして促していくかのイベントにパネリストとして参加させていただきました。

右下は春の区政報告会。世田谷区の現状を皆さんに説明させていただきました。ゲストに蓮舂参議院議員。左下は夏祭りにて。今年も多くの夏祭りに参加させていただきました区民の皆様と意見交換させていただきました。今後ともご意見お待ちいたしております。



政治参画イベント



春の区政報告会